

オススメの新着図書

【一般向け】

『午前零時の評議室』

衣刀 信吾／著 光文社



大学生の実帆に届いたのはアルバイト先の法律事務所が担当する事件の裁判員選任の案内状だった。集まった裁判員たちに異例の事態が…。

【一般向け】

『そういえば最近』

寺地 はるな／著 U-NEXT

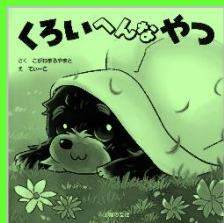


売れっ子作家・匙小路ルイの友人夫婦が消えた。ルイは2人の消息を追うついでに、夫婦のことを新作の題材にできないかと思案して…。

【児童向け】

『くろいへんなやつ』

こがねまる やまと／著 ていーこ／絵
主婦の友社



ぼくはペットの犬。ぼくの家にやってきた黒い仔犬は、ぼくのおもちで遊ぶし、ぼくの特等席で寝る。ぼくは仲良くなりたくなくて…。

【児童向け】

『そらはだかんぼ！』

(五味 太郎／著 偕成社)

図書館ボランティア・さつきの会／製作



ライオンくん！おふろですよ。はだかんぼになりなさい。ライオンがはだかんぼになるなんておかしいね。では…。
かわいい布の絵本になりました♪

読書会通信

【3月読書会より】

『サラの鍵』 タチアナ・ド・ロネ／著 高見 浩文／訳 新潮社

一九九五年、シラク大統領が演説するまでフランスで知られていなかった負の歴史。

第二次世界大戦中のパリにおけるユダヤ人の一斉検挙事件、奇跡的に生き残ったサラと50年後に事件の真相を取材するジャーナリスト、ジュリアを中心に物語が進む。ホロコーストについて読むのはいつでも気が重いものだったが、過去と現在を交互に描く構成によって引き込まれた。知ること、知らせること。一読に値する素晴らしい本でした。〔竹川 寿美子〕

